

# 顔の見える木材での快適空間づくり事業のうち A材丸太を原材料とする構造材等の普及啓発

事業実施主体

株式会社 ワイス・ワイス(企画・設計・販売・管理)

## 実施体制・連携グループ

- A. 諸塚村森林認証研究会(製造管理・木材供給)、一般社団法人ウッドピア諸塚(伐採・搬出)、もっくわーく那須(家具製造)、株式会社中村製材所(人工乾燥)、コイズミスタジオ(デザイン事務所)、FSC JAPAN(後援)
- B株式会社五反田製作所(家具製造)、有限会社田鉄産業(木材供給)、その他協力団体
- C.森林組合おわせ(木材供給)、その他協力団体

## 【テーマ】地域材を使った「森をつくる家具」の開発・販売・普及

### 背景と目的

【背景】日本全国に存在する林業地より、行き場を失ってしまった木々(国産A材)を有効活用、高付加価値化したいと沢山の相談が弊社に舞い込んでいる。

【目的】地域材を使った家具のブランド化によりA材需要の喚起と価値の最大化を目指す。

### 対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- ▼材料の生産地まで遡る、つくり手や職人の顔の見える家具3シリーズ
- A.宮崎県諸塚村のスギ・コナラ(椎茸原木の未利用材)を用いた新作家具「ニューモロツカ」(ダイニングセット・FSC認証商品)
- B.秋田県角館イタヤカエデを用いた新作オーガニックソファ「スプリング」
- C.三重県尾鷲ヒノキを用いた新作家具「オワセ」(ダイニングセット・FSC認証商品)⇒エンド、公共施設・商業店舗・ホテル等へ納入、世界市場へ

### 写真・図等

A「ニューモロツカ」  
諸塚村 コナラ・スギ



### 『森をつくる家具』

B「スプリング」  
秋田 イタヤカエデ



C「オワセ」  
三重 尾鷲ヒノキ



### 事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

▼今までにない地域材家具のプロデュースとプロモーションを展開する。

- ①A-8月中旬: 林業立村を掲げる諸塚村の太くなり過ぎた椎茸原木の未利用材を有効活用し、村役場、教育委員会、FSC Japan、JVCケンウッド、スマイルズ等の協力のもと、ニューモロツカの新商品発表会を開催する。
- ②B-11月末: 東北の林業関係者と連携し、秋田県角館で広葉樹製材を生業とする田鉄産業が木材調達/製材/乾燥を担当。家具業界の伝説的職人として著名な宮本茂紀氏と、日本のデザイン業界を牽引する佐藤卓氏の協力を得て、地域材を含む天然素材(木・鹿皮・馬毛など)に徹底的に拘り、その文化背景を伝え、技術の伝承をテーマに一流の職人たちでつくり上げるオーガニックソファの新商品展示発表会を開催する。
- ③C-2019年3月(予定): 日本を代表する美しい人工林を誇る速水林業/森林組合おわせのヒノキを素材に、世界トップレベルの木製家具製造技術を誇る日本最大の木工家具工場カリモク(OEM)との掛け算で新作家具を世界に向けて発表する。

### スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月~

12月

1月

2月

展示準備/販促物製作など

A-展示会発表①

展示準備

B-展示会発表②

C-試作・開発・展示準備/販促物製作

報告書作成